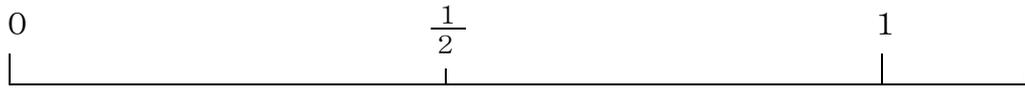




<h1>10 分数のたし算とひき算</h1>				
学年		組		氏名

① 下の数直線を見て、大きさの等しい分数を見つけましょう。



$\frac{1}{2}$ と $\frac{2}{4}$ と $\frac{3}{6}$, $\frac{1}{3}$ と $\frac{2}{6}$, $\frac{2}{3}$ と $\frac{4}{6}$

② 次の分数を約分しましょう。

(1) $\frac{2}{4} = \frac{1}{2}$

(3) $\frac{4}{12} = \frac{1}{3}$

(2) $\frac{3}{15} = \frac{1}{5}$

(4) $\frac{14}{21} = \frac{2}{3}$

分母の数と分子の数の公約数を見つけ、その数で分母の数と分子の数の両方をわれば求めることができます。
 したがって、(1)は2で、(2)は3で、(3)は4で、(4)は7で分母と分子をわれば求めることができます。

③ 計算をしましょう。

(1) $\frac{5}{8} + \frac{1}{4} = \frac{5}{8} + \frac{2}{8} = \frac{7}{8}$

通分（分母の数をそろえること）をするとき、分子にも同じ数をかけることを忘れないようにします。

(2) $\frac{3}{4} - \frac{2}{3} = \frac{9}{12} - \frac{8}{12} = \frac{1}{12}$

仮分数になった場合は、帯分数に直すように心がけましょう。

(3) $1\frac{4}{5} + \frac{3}{4} = 1\frac{16}{20} + \frac{15}{20} = 1\frac{31}{20} = 2\frac{11}{20}$